

■会社概要

商号 株式会社 日本システムソリューション
代表者 岡 賢治 岩田 慎一
本店 〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目6番11号 伊藤ビル3F
TEL 03-6661-6328 FAX 03-5614-0718

会社設立 平成12年5月
資本金 10,000千円

関連企業 一般社団法人都市交通環境整備機構
株式会社エスアイインフォジェニック
株式会社ノーステック
株式会社日本ロックサービス
日装工業株式会社
株式会社駐車場総合研究所
アステック株式会社
有限会社ウェブテック・コーポレーション
株式会社 ヒューマン・インダストリアル・デザイン
株式会社布兼

取引先 三井住友銀行
三菱東京UFJ銀行
りそな銀行
イオン銀行



株式会社 日本システムソリューション

会社案内

■地図

〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目6番11号 伊藤ビル3F
☎ 03-6661-6328 FAX 03-5614-0718



主な交通機関

地下鉄 東京メトロ半蔵門線・水天宮駅・・・6番出口 270m 3分
東京メトロ日比谷線・茅場町駅・・・7番出口 400m 5分
東京メトロ日比谷線・人形町駅・・・A2出口 450m 6分
都営浅草線・人形町駅・・・A6出口 550m 7分
都営新宿線・浜町駅・・・A2出口 1000m 12分



御社の問題解決にお手伝い致します。

弊社は社会環境対策、社内に於ける営業・労務・人事の管理、個々のシステム開発や外部受託事業等の問題解決にご協力いたします。

株式会社 日本システムソリューションは、内・外部の豊富な人材と企業で、個々の問題解決に当たります。問題解決に対し、コンサルティング業務から、事業計画の立案・事業受託まで責任を持って取り組み致します。既存の事業環境を見直し、新たなシステムを構築し経営改善を進めます。

特に得意な分野はサービス事業で、お客様の満足度を上げるサービス・システム・アイテム等を構築し、事業業績を上げることです。



■放置自転車管理スマートシステム

放置自転車管理スマートシステムは自治体向けに、最新のスマートフォンをフル活用して最新のテクノロジーで開発されたシステムです。従来のように集積場や移動場所着いてからデータを入れると問合せ業務が円滑に出来ません。

放置自転車管理スマートシステムは自転車を撤去した時点で、スマートフォンの写真機能を利用してリアルタイムにデータベース化ができます。

このため、撤去時点からコールセンター・役所の問合せ業務を、写真を見ながら円滑に運用ができます。

放置自転車管理スマートシステムは長年現場で培ったノウハウをシステムに反映して開発されています。

また、セキュリティ面でも安心したシステムを提供いたします。

面倒なサイト運営体制メニューもオプションで用意しておりますので安心です。

Smart Bicycle Smart System 放置自転車管理スマートシステム NSS

1) 撤去時より自転車の場所と情報が検索できる。(役所・コールセンター・集積場にて)

2) スピーディーな対応がクレームを減少させ、区民に早期返還が可能になる。

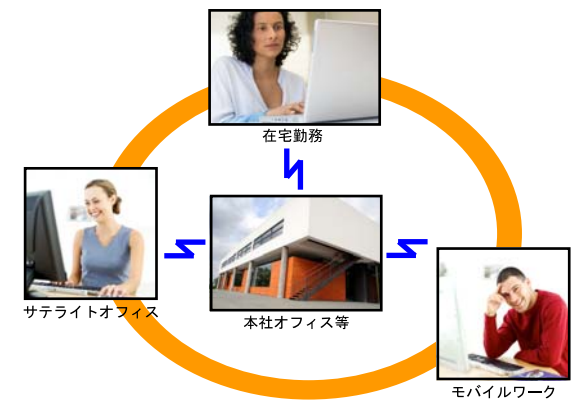
3) 最先端IT技術で構築されたセキュリティシステムを採用。

4) 放置者の居住分布図が簡単に作成でき、災害時の非難計画策定に利用

■影武者 Office

影武者Officeは情報通信技術を活用したグループウェアを支援するソフトウェアです。例えばテレワークは場所、時間にとらわれない柔軟な働き方ですが、働いている方に指示された仕事の着手・完了、また仕事を依頼された方も自分がやらなければならないことが明確に管理されているかなど、依頼する側にも、依頼される側にも課題が多いのが現状です。また大切な仕事の依頼が期日通りに終わらないことは企業においても信用問題も含め重要な課題です。

これら場所、時間にとらわれない柔軟な働き方の問題を解決するためにはインターネットを利用した情報の共有と状況を明確にすることが必要です。依頼側は何を依頼したか、依頼された側も依頼内容をいつまでにやらなくてはならないか、既に遅れているかなどが一目瞭然でわかることが必要です。



■社会交通関連

今日の経済・社会環境の中で、生活の基盤である都市交通において多大な問題が生じており、この問題解決に当たるため問題点を四つに絞り、各界の知識と技術と資金を導入し、産・学・官連携事業としてシステム開発しております。

1. 低炭素化社会の構築。

社会に多大な悪影響を及ぼす地球温暖化において、温室効果ガスの大きな割合を占める二酸化炭素の排出が少ない社会を構築することが世界的な課題となっているが、都市に於ける自動車の排出ガスを低減するには、スムーズな車両移動とパーキング問題の解決、また自動車から自転車への交通手段の転換による交通体系の見直しとそのインフラ整備等の問題解決。

(交通環境問題を解決する総合交通体系システムの構築)

2. 中心市街地の活性化。

空洞化を始めている中心市街地に人と自転車が共生する街創りを目指し、単なる机上の都市計画プランではなく、地域と駐車・駐輪のプロ集団と大学の知識と地域住民との連携事業で実践的な活性化事業計画を確立し実行する。また自動車から自転車への交通手段の転換による交通体系の見直しとそのインフラ整備は自治体との連携事業とする。

3. 自治体の財政負担の軽減

駐車・駐輪問題は街の美観を損ねており、コストのかかる放置自転車の撤去処理等も含め行政にとっては多大な負担になっており、上記低炭素化運動と中心市街地活性化の事業とも連動しており、この連携は縦割り行政の不得意とするところで、事業の民営化により産・学・官連携事業と連携すればローコストで高効率な事業展開ができる。

4. 地域雇用の活性化

事業の民営化により産・学・官連携事業と連携すればローコストで高効率な事業展開ができるのみならず、例えば公共駐車場のオープン化(24時間)や、屋外自転車駐輪場の施設利用者に対し安心と時間の良質なサービスを提供すれば、駐輪場等の有料化による新たな雇用の場が創出できる。また上記事業計画には民間資金を導入し税負担の低減を図る。

■ナンバー認証システムの活用

ナンバー認証システムの活用は、駐車場における入退場の自動化のみならず、施設の入退出時に車両の番号を読み取り、車両情報から来場者の地域分析や、滞留時間・入退出時間等の情報を集約できる事から施設・店舗の営業戦略の基本資料として活用できる。駐車場の利用価値においては、特定車両の識別、出口渋滞の緩和、不正防止、入退出システムをペーパーレス化することで大幅なコスト削減など多くの利点があります。